

中国の台頭－日本にとっての機会と挑戦－

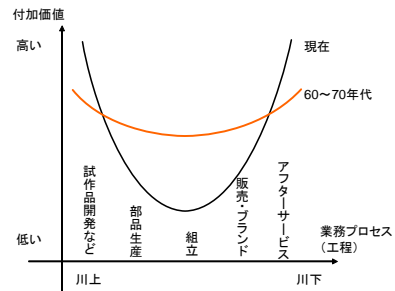
野村資本市場研究所 シニアフェロー 関志雄

日中主要経済発展指標の比較

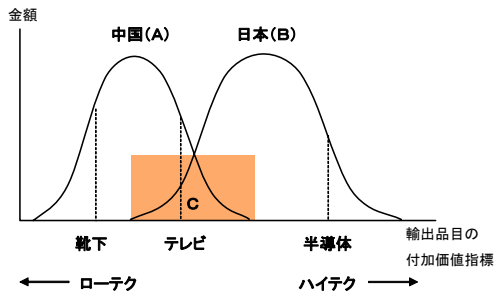
	中国(直近)	日本
平均寿命(才)	72.95 (2005年)	72.9 (1971年)
乳児死亡率(千分比)	24.3 (2005年)	23.2 (1963年)
一次産業のGDP比(%)	11.8 (2006年)	12.2 (1963年)
都市部のエンゲル係数(%)	35.8 (2006年)	35.7 (1964年)
1人当たり電力消費量(kwh)	2156 (2006年)	2177 (1967年)

(注)平均寿命は男女平均
(出所)『中国統計年鑑』中国統計出版社、『日本の百年』国勢社、『人口動態統計』厚生労働省より作成

時代と共に変化するスマイルカーブの形



日中間の競合・補完関係



アジア各国の中国との競合度

	(%)			
	1990年	1995年	2000年	2003年
日本	3.2	8.5	16.2	21.9
韓国	24.8	28.4	37.3	40.9
台湾	27.5	40.2	49.5	68.8
香港	43.8	51.5	58.4	71.7
シンガポール	14.7	19.2	34.8	40.1
インドネシア	48.5	59.7	68.0	66.8
マレーシア	37.4	36.8	47.3	65.0
フィリピン	41.9	45.6	45.9	60.7
タイ	36.4	47.5	55.7	69.8

(注)HS9桁分類の全品目を対象としている。
(出所)U.S. Census Bureau, US Imports History-Historical Summary 2000-2003, 1995-1999, 1989-1993より筆者作成。

日本のデフレにおける中国要因

- 良いデフレ: 輸入価格の低下によるコストの削減が生産の拡大をもたらす(石油価格の低下と同様)
- 悪いデフレ: 需要のチャイナ・シフトによる生産の低下
- 日中が補完関係にあることを反映して、良いデフレの効果が大きい

元切り上げによる日本企業への影響

プラス (16.2%)	対中輸出の増加が見込まれるため競合する中国製品の競争力低下 保有している人民元の価値が上がる
どちらも言えない (47.2%)	中国関連ビジネスの規模が小さい 対中輸出・輸入の金額が均衡している 為替変動を吸収しやすい
マイナス (36.5%)	中国製品の輸入価格上昇 中国の自社の生産拠点の競争力低下 日本人従業員のコストが割高になる 元高が中国国内の景気を冷やす可能性

(出所)日本経済新聞(2003年9月20日付)